

事業名

小中一貫教育と街づくり

目 標

小中一貫教育の開始に合わせ、子どもの教育環境に、これまで以上に地域が関わることで絆を深め、住みよい街づくりを目指す。

1. 取組の視点

本年度、奈良帝塚山地区に富雄第三中学校が開校しました。昨年度までは、富雄中学校区に所属する一つの小学校区の活動として、本事業を進めてきましたが、新しく中学校区として生まれ変わると同時に、地域教育協議会も発足し、独自の活動を企画・運営することとなりました。初年度は、組織の基盤づくりを中心に、人材募集と人材育成に力を入れました。また、校舎増改築に関わる学校園の取組への支援活動にも力を入れて、「地域で決める学校予算事業」に取り組みました。これらの活動は、地域広報紙「奈良帝塚山だより」に掲載し、地域へ紹介しています。

2. 取組の概要

富雄第三中学校区地域教育協議会を立ち上げて、初めての総会を5月25日に開催しました。



その後、奈良帝塚山地区にお住まいのみなさんに、協議会発足のお知らせを「奈良帝塚山だより」に掲載し、活動目的・活動内容および予算などの報告とともに、ボランティア登録のお願いや地域コーディネーターの募集記事を掲載しました。また、初めての学校支援活動に、校舎増改築に伴う物品の移動作業へのボランティア募集も併せて行った結果、地域にお住まいの多くのみなさんにご協力いただくことができました。

秋には、富雄第三幼稚園の敷地内にある「みんなの里山」の整備作業を行い、主な地域活動団体の協働コミュニティースペースとしてたくさんの芝桜の苗を植えました。



何年か先には、学校園を訪れる方を花いっぱいでお迎えできるように、整備を継続していく予定です。

この他、小中学校の更衣教室用のカーテン作りや、中学生との協働作業となったビオトープの整備作業、幼稚園児と「みんなの里山」内にある畑の大根ひきなどを行いました。2月1日に行った、「ボランティア交流会」では、今までの活動に参加していただいたボランティアの方たちと意見交換をしました。貴重なご意見をいただくことができ、次年度につなげていくことの大切さを実感することができました。

3. 成果と課題

活動初年度ということもあり、すべてにおいて右往左往しながら事業を進めてきました。その中で見えてきた今後の課題は、多くの地域住民に関わっていただくためにも地域教育協議会という組織を知っていただくことと、人材の育成です。

また、支援体制と支援内容を学校園とボランティアの方たちと話し合いながら具体化していくことで、小中一貫教育校区という特色を生かし、充実した活動を進めていきたいと考えています。

事業名

地域の教育力を生かした小中一貫教育の推進

目標

学校と地域が協働して小中一貫教育の基盤を整えると共に、キャリア教育の推進を図る。

1. 取組の視点

富雄第三中学校は、施設一体型小中一貫教育校として、本年度(平成23年度)創立しました。4月に開校した時点では、中学校の校舎は建設途中で、小学校の教室を借りて授業が始まりました。9月に校舎が完成し、「小中一貫教育とまちづくり」が本格的に始まりました。富雄第三中学校区として独立し、小中一貫教育校としての基礎をつくるという視点で、「地域で決める学校予算事業」に取り組みました。また、取組の様子を地域・保護者・児童生徒に伝え、活動の輪を広げるということにも力を入れて取り組みました。活動の様子を写真に撮り、本校のホームページで「Topics」や「学校支援」のコーナーでその都度、紹介しました。

2. 取組の概要

夏休み前に旧校舎にあった物品全てを体育館に運び込み、休み中に校舎の増改築を完成し、9月に再び校舎に戻すという作業を児童生徒・教職員をはじめ、保護者・地域の方々にお願ひし、ボランティアとして協力いただきました。また校舎建設に関わって多くの方にお世話になりました。

その方々にお礼をしようと中学校の生徒が中心になり、お礼の取組を行いました。お礼の気持ちと自分たちがよい学校をこれからつくっていくという思いを込めて、大きな垂れ幕をつくったり、お礼の思いを込めたカードを書いたり、新聞をつくりました。

また、秋には、校舎がきれいになる中で、残されていたビオトープを中学生有志と地域ボランティアのみなさんとで見違えるようにきれいにしてくれました。地域のボランティアの協力を得ることで子どもたちだけではできなかったところまで美しくできました。



他にも、キャリア教育充実のための図書を購入し、中学校の図書情報室で閲覧できるようにしたり、ゲストティーチャーとして職業人に来てもらい、仕事について話を伺ったりしました。これら



の取組で、「働く」ということについて考えを深めることができました。

3. 成果と課題

発足して1年目に、小中一貫教育校として地域のみなさんの協力を得ながら活動できたことは大きな成果です。これからも本校の特色を活かし、地域の方々の様々な協力を得て、教育活動を進めていきたいと思ひます。学校とコーディネーターが協力して、「子どもたちのために何ができるか」を考えながら、事業を創造していくことが来年度からの大きな課題と考えています。

事業名

地域の教育力を生かした小中一貫教育の推進

目標

奈良のすばらしさを地域の方から学ぶことを通して、奈良に対する誇りと自信を育むとともに、奈良を愛する子どもたちを育てる。

1. 取組の視点

本校は、今年度中学校を新設し、施設一体型の小中一貫教育校として新たな歩みを始めました。

小中一貫教育を進める上で、その1つの特色として新設3教科（英会話科、情報科、郷土「なら」科）があります。郷土「なら」科の学習では、奈良の自然や文化、歴史に対する理解を深め、奈良に誇りを持ち、奈良の良さを継承、発展させていこうとする態度を育てることを目標に取り組んでいます。

地域には、様々な分野で活躍してこられた方や現在も活躍しておられる方がたくさんいらっしゃるので、学習計画を立てるにあたっては、地域の教育力を最大限に生かした教育内容を構築し、子どもたちが自分の暮らす町に誇りと自信をもてるよう工夫しているところです。

2. 取組の概要

【地域の方からの学び】

伝統文化に携わっておられる方、奈良の自然や歴史に深い見識をおもちの方、被爆体験をおもちの方などをゲストティーチャーとしてお招きし、子どもたちにとって豊かな学びを創造することができました。

○被爆体験から、平和の大切さを学ぼう。（6年）

○能・狂言にふれてみよう。（6年）



能・狂言体験をする6年生

○古都奈良の世界遺産について学ぼう。（5年）

○霊山寺のひみつを調べよう。（4年）

○赤膚焼に挑戦しよう。（3年）

○まちたんけん。（1, 2年）

○おいもをそだてよう。（ひまわり）

【交流活動をとoshした学び】

地域の方々や近隣の学校との交流活動をとoshして学んだことも多かった。

○奈良西養護学校と交流しよう。（4年）

○高校生から英語を学ぼう。（4, 5, 6年）

○富雄第三地区文化交流会に参加しよう。

（5, 6, 7年）



音楽をとoshして地域の方と交流

3. 成果と課題

地域の方々の様々な協力を得ながら教育活動を進めることができたことは大きな成果です。また、取組の様子をホームページの Topics や「学校支援」のコーナーで紹介し、地域・保護者・児童生徒に伝え、活動の輪を広げることができました。今後は、学校とコーディネーターが協力して、「子どもたちのために何ができるか」を協議のテーマに据え、本事業を有効に活用しながら小中一貫教育が根付く学校・地域づくりが進められるよう学校と地域の連携の在り方を模索していきたいです。

事業名

友達と一緒に思いっきり表現することを楽しもう

目標

いろいろな人とかわり、人とつながりながら豊かな心を育て様々な方法で表現する。

1. 取組の視点

地域の方々の教育力を生かしながら、幼児は恵まれた環境の中でゴスペルやクリスマスコンサート、近大生との触れ合いコンサートなどいろいろな経験をしたり、収穫した米を使ってポン菓子をしたりして感動体験を積み重ねていきたいと考えています。また、読む力・聴く力を身につけるために絵本の部屋を整備したいと考えました。

2. 取組の概要

クリスマスコンサートお楽しみ会でサンタクロースに来ていただいた後、小学校の保護者の方に来ていただきコンサートを開催しました。保護者の方や地域の方々にも来ていただき、子どもたち



の知ってる歌を素晴らしい歌声で聴かせていただきました。一緒に手拍子をしたり、踊ったりして音楽の世界に浸ることができました。その時、教えていただいた歌は、子どもたちの生活発表会でも歌われこの経験が生かされています。

ポン菓子パーティー6月に子どもたちと一緒に田植えをしました。毎日、水の様子を見ながら世話をし稲刈りもしました。その米を使ってポン菓子を経験しました。お米と砂糖でおいしいお菓子になることがわかり、子どもたちは新たな感動を覚えました。未就園児の方たちや保護者の方たちも招待し、一緒に体験しました。子どもたち



はもちろん、保護者も初めての経験だったようです。自分たちで育てたものに対する感謝の気持ちや食べ物を大切にしようとする態度が養われました。

絵本の部屋の環境整備子どもたちに聞く力・話す力を身につけるために、絵本の部屋を充実しました。絵本の分類がわかりやすいようにラベルの色や棚を色別にしました。そのことで貸りたり返したりすることがスムーズにできるようになり、積極的に絵本の部屋を使うようになりました。



また、幼稚園の図書委員の方や小学校の「絵本の遊園地」、読み聞かせアニメーションの方々に定期的絵本の読み聞かせをしていただくことで、誰の話でも集中して聞くことができ、友達の思いや考えていることに耳を傾けるようになってきました。このことをいろいろな方法で表現し伝えていく力も育ってきています。



3. 成果と課題

地域の方々や様々な人たちの教育力を生かし多方面にご協力いただいて、幼稚園は子どもたちの学びの場になっています。学んだことがそれぞれ次のステップに生かされるよう、このつながりを大切にしながら継続し心豊かな幼児の育成に努めていきたいと考えています。

また、幼小の滑らかな接続のための聞く力・話す力や幼児期に必要な体力をつけられる環境の整備をしていきたいと考えています。